

輝北

第50回記念大隅地区中学新人野球大会

KIHOKU

50回目を迎えた  
中学新人野球大会

8月2日から5日の4日間、第50回記念大隅地区中学新人野球大会が、輝北町上百引の輝北運動場と百引中第二グラウンドで開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と技術向上を目的に昭和32年に始まった伝統ある野球大会で、今年は50回目の記念大会。猛暑の中、大隅半島全域から参加した32チームが連日熱戦を繰り広げた結果、第一鹿屋中学校が見事優勝を勝ち取りました。

結果は次のとおりです。

優 勝 = 第一鹿屋中学校

準優勝 = 大崎第一中学校

3 位 = 百引中学校、鹿屋中学校



決勝(第一鹿屋中対大崎第一中)



準決勝(百引中対大崎第一中)



準決勝(鹿屋中対第一鹿屋中)



優勝した第一鹿屋中

鹿屋

伝統の舞を披露

KANOYA



8月6日、高須町で市の無形民俗文化財に指定されている伝統の舞『刀舞』の行列が町内を練り歩きました。

刀舞は5つの舞(長刀舞、刀舞、弓舞、田の神舞、鬼神舞)の総称で100年以上の歴史を持つ伝統行事。勇壮な長刀舞を先頭に小学生が踊る刀舞、中学生が踊る弓舞、ひょうきんな踊りで笑いを誘う田の神舞、そして最後に鬼神面をかぶり豪快に踊る鬼神舞が続く約100人の行列は、真夏の炎天下のもと汗だくになりながら4時間ほどかけて町内約6kmを巡行し、伝統の舞を披露しました。

ひょうきんな踊りで  
観客の笑いをさそう  
田の神



子供を脅かす鬼神。  
これには子どもが健康に育つようにとの願いが込められているそうです。

真っ赤で恐ろしい形相をした鬼神は迫力満点!



輝北 きほく夏祭り

8月12日、輝北町下百引の輝北町平南校区公民館広場で『きほく夏祭り』(輝北町青年同志会、平南校区公民館主催)が開催されました。

会場では、小中学生のダンスや地域住民の歌や踊りが披露されたほか、歌手の岡崎ひろみさんによる歌謡ショーなども開催。また、祭りの最後には花火が打ち上げられ、会場は、お盆で帰省中の人や地元市民など多くの人出でにぎわいました。



祭りの最後を飾った打ち上げ花火

KIHOKU



小中学生による元気  
いっぱいのダンス



同好会の皆さんによる  
華麗なフラダンス



岡崎ひろみ歌謡  
ショー

吾平 うましと 美里あいら夏祭り

8月5日・6日、吾平町で『美里あいら夏祭り』(吾平町商工会主催)が開催されました。

祭りは、5日の前夜祭(六月灯)を皮切りに、6日はお神輿や町民踊り、花火大会などを実施。町民踊りには約500人が参加し、吾平町商店街を威勢の良い踊りで練り歩きました。また、月見橋上流で開催された花火大会では、約3,000発の花火が吾平の夜空を彩りました。



始良川に写る花火がきれいな花火大会。



鶏戸神社で行われた  
前夜祭



小中学生が元気に担いだ  
お神輿。



12チーム、500人が  
参加した町民踊り。

吾平 本に興味を  
持ってもらう



8月20日、吾平振興会館で、読書グループの活動や本に興味を持ってもらうと『吾平地域読書まつり』が開催されました。

まつりには親子連れなど約80人が参加。小中学生でつくるヤングボランティアクラブによる大型紙芝居や鹿児島弁の昔話が行われたほか、下名親子読書会の「ねずみの嫁入り」にちなんだ、折り紙づくりや、押し花のしおりづくりなど多彩な催しが行われました。

鹿屋 恒久の平和を願う



8月15日、特別攻撃隊戦没者慰霊塔がある小塚公園で終戦記念日の集いが行われました。

集いには、旧海軍の関係者や市民など約30人が参列。1分間の黙とうを捧げた後、主催した鹿屋航空基地史料館連絡協議会の黒江明男会長が「戦争の歴史を次代に語り継がなければなりません」とあいさつ。その後、参列者一人ひとりが戦没者の御霊に手を合わせ、恒久の平和を願いました。

鹿屋 水神様の湧き水を  
地域の名所に



8月6日、西大手にある水神様の湧き水に蛇口が設置され、誰でも気軽に飲めるようになりました。

西大手町商店街振興組合と西大手町内会では、水源地として利用されていたこともある水神様のほこらから湧き出る地下水が、保健所の水質検査をクリアしたことから、地域の名所にして活性化につなげようと蛇口を設置。利用する人から「冷たくておいしい水」と好評を得ています。

鹿屋 約4トンのごみを回収



8月6日、肝属川で第24回肝属川クリーン作戦(小さな親切運動鹿屋支部主催)が行われました。

被川町から吾平町馬込橋までの流域約12kmで行われた肝属川の清掃活動には、周辺の町内会や企業、各種団体など80団体から約1,600人が参加。1時間ほどかけて自転車などの粗大ごみや空き缶、ビニール袋類、雑草など、汗をかきながら約4トンのごみを回収しました。

鹿屋 輝北 串良 全行程200kmを  
自転車で走破



8月3日から6日までの4日間、小中学生が大隅半島を自転車で巡る2006サイクルアドベンチャー『シャカリキ』が開催されました。

これは、(社)鹿屋青年会議所が子供たちに大隅半島の魅力を再発見してもらおうとともに、チャレンジ精神を養ってもらおうと初めて開催したもの。子供たちは鹿屋中央公民館前を出発し、田代、内之浦、輝北、垂水を3泊4日で巡る全行程約200kmのコースを、自転車で1日当たり40km~60km走行。子供たちは、「一緒にゴールしよう」「自分に負けるな」と励まし合いながら、参加した41人全員が完走を果たしました。

鹿屋 防犯・防火パトロール隊が発足



9月1日の防災の日に大隅肝属地区消防組合で、防犯・防火パトロール隊の発足式が行われました。この隊は、同組合の全職員153人が、自家用車のドアに防犯・防火パトロール中と表示したステッカーを装着し、通勤時等にパトロールを実施しようと発足したものです。山中中央消防署長が「積極的にパトロールし、子供達の安心・安全に努めます」と決意を述べ、早速パトロールに出発しました。

鹿屋 トンネル事故を想定して訓練



9月1日の防災の日に先駆けて集団災害事故に対する初動体制の確立を図ろうと、8月27日、西大手町の城山トンネルで集団災害事故訓練が行われました。訓練は、震度6強の地震が発生し、トンネル付近で多数の負傷者がたつという想定で実施。大隅肝属地区消防組合や鹿屋市消防団、鹿屋市医師会など各関係機関から77人が参加し、連携を取りながら救助訓練や消火訓練を行いました。

鹿屋 個性あふれる歌と演奏を披露



8月27日、アマチュアバンドのパフォーマンスを競うサマーミュージックフェスティバルが、市文化会館で開催されました。フェスティバルには、31組が出場し、フォークやロックなどの個性あふれる歌と演奏を披露。審査の結果、一般の部はマイクパフォーマンスを披露した2106(ツトム)、ティーンズの部はノリのいいリズムで観客をわかせたPINOCCHIO BOXが大賞に輝きました。

鹿屋 輝北 串良 吾平 肝属支部消防操法大会に代表チームが出場

8月11日、霧島ヶ丘公園北口第一駐車場で、平成18年度肝属支部消防操法大会が開催されました。この大会は、消防団の消火技術向上とともに、県大会への出場権をかけ、肝属地区全市町の代表チームが集結して行われるもので、鹿屋市からは鹿屋、輝北、串良、吾平の各地区ごとに代表チームが出場。小型ポンプの部とポンプ車の部それぞれで日ごろの訓練の成果を発揮し健闘しましたが、惜しくも県大会への出場はかないませんでした。



吾平消防団



鹿屋消防団



串良消防団



輝北消防団

吾平 吾平集団災害事故訓練を実施



9月2日、湯遊ランドあいらで吾平集団災害事故訓練が行われました。訓練は、マイクロバスと乗用車の正面衝突により多数の負傷者が発生したという想定で実施。大隅肝属地区消防組合、吾平消防団、肝属東部医師会など各関係機関から約120人が参加し、火災車両からの救助訓練や、防災ヘリコプターによる負傷者の搬送訓練等を行い関係機関の連携を深めました。

鹿屋 応急手当コンテストを開催



9月3日、だいわ鹿屋店で救急フェアが開催されました。フェアでは、県の防災ヘリによる救出訓練や救急資機材の展示、はしご車の体験搭乗などが行われたほか、男性が胸を押さえて倒れたという想定で、応急手当コンテストを開催。9チームが参加し日ごろの練習の成果を競った結果、大きな声でテキパキと対応した鹿屋養護学校のチーム『柔』が最優秀賞を獲得しました。

吾平 カヌーがたすき代わり



9月3日、始良川の野峰橋下浅瀬から月見橋までの約2.7kmを4人1組で下る吾平地域カヌーラリー2006が開催されました。これは、吾平地域の自然の再発見と体力づくりなどを目的に行われているもので、子どもの部と一般の部に計18チームが参加。選手達は、堤防沿いから応援する父母等の声援を背に、たすき代わりのカヌーを4人で乗り継ぎ合計タイムを競い合いました。

鹿屋 青色回転灯を寄贈



8月28日、県遊技業協同組合鹿屋支部が防犯用青色回転灯50個を寄贈しました。この回転灯は、多発している青少年が巻き込まれる事件等を抑止し、安全・安心な地域づくりに役立て欲しいと贈られたもの。現在、市内には34台の防犯用パトロール車が回転灯を付けて活動中で、寄贈された回転灯は市公用車等へ設置するほか、現在使われている古い回転灯を更新する予定です。

鹿屋 養豚経営を学ぶ



8月25日、市農業研修センターで、平成18年度鹿屋市養豚生産者研修会が開催されました。これは、養豚業を健全で安定的に発展させていくために必要な、地域環境と調和した養豚経営を学ぼうと行われたもので、市内の養豚農家約70人が出席。鹿児島大学の出口栄三郎教授の「養豚経営のポイント」と題した講演もあり、出席者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

串良 カヌーに乗って自然を満喫



8月24日、串良町下小原の高良橋から東串良町の第二有明橋までの約6kmをカヌーで下る肝属川探検・カヌーツーリングが開催されました。これは、自然体験と豊かな人間性の育成を目的に行われたもので、小中学生20人が参加。子供たちは、穏やかな川の流れに乗り、水面から飛び跳ねる魚や川べりの景色を楽しみながら、約2時間のカヌーツーリングを楽しみました。